

お元気ですか？

第19号

2025年1月発行



「地球に再接近した紫金山アトラス彗星、2024/10/13甘楽の丘にて撮影」 撮影者：佐藤 尚文

CONTENTS

- 富 企業長 新年のごあいさつ 2
- 富 両院長 新年のごあいさつ 3
- 富 紙上ナイトスクール☆シ のどを鍛えて誤嚥を防ごう！ 4
- 富 シリーズ職場紹介（4AB病棟） 5
- 富 患者満足度調査結果 6-7
- 富 BLS研修 8
- 富 リハビリテーションの関わり おうちに帰る準備 -浴室編- 9
- 富 当院の訪問診療 10
- 富 訪問診療での外来看護師の役割 11
- 富 地域医療連携だより 12



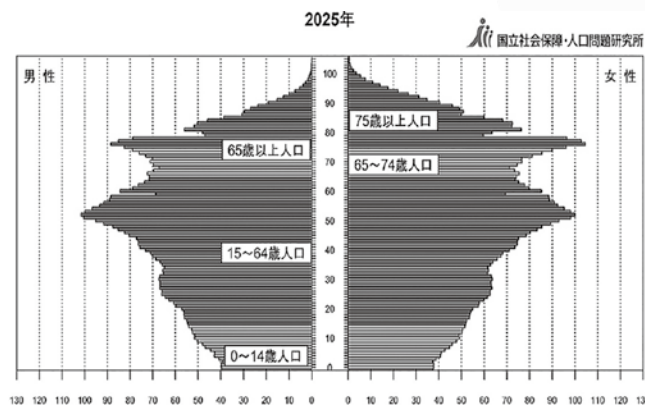
新年のごあいさつ



富岡地域医療企業団
企業長 佐藤 尚文

新年明けましておめでとうございます。読者の皆様はどんな新年を迎えられましたでしょうか？今年令和7年、平成なら37年、そして昭和100年となります。昭和の方が年齢を数えやすい方が多いと思いますし、「じょうわ」という言葉の響きが、私には平和で穏やかな日々を思い起こすようにも思えます。しかし私たちはこの新しい年も更に困難な時代になる覚悟をしなければならぬ状況にあります。地球温暖化は更に加速し、夏の酷暑は人々を命の危険に近づけます。海水温の上昇は雨が降れば豪雨災害の発生が必然

となつていきます。また世界に目を移せば、近視野的な経済にのみ目を奪われている政治的な社会の分断が戦争に繋がります、歴史の中で多くの人々の命と引きかえて獲得した本当の民主主義を再び破壊していく勢力が台頭しつつあります。日本国内においても格差社会は更に広がり、SNSなど通信手段の普及に伴い、失業中の若者によつて引き起こされる詐欺や強盗事件が善良な市民を不安に陥れています。何かが違う！と考え、社会が方向転換をしないといけないのです。図は2025年の人口ピラミッドです。じつと見てみましょう。



若い時代に高度経済成長やバブル経済を経験した世代は高齢者となつて行きますが、当時の高齢者が受けた恩恵の「つけ」がこれからの世代に回るのではないかと危惧されます。何処の業界でも人手不足と悩んでいます。人手不足と叫びながら、他の職種から人手を剥がし取るようでは困ります。少ない人員で効率よく行うには、機械やロボット、AIを活用して、集約化は避けられません。農林水産業はまさにこの路線です。

便利さや豊かさをひたすら追い求めてきましたが、これからは自らの便利さや豊かさでなく、次の世代、未来のためのそれを念頭において決めていくべきです。食料、エネルギー、そして環境、教育です。便利さ、豊かさの追求は都市部に人が集中し、超高層ビルとなり、地下空間も巨大都市の一部となつていきます。24時間消えることの無い照明、飛び交う飛行機や、リニア新幹線も出来る事でしょう。必ず来る大災害と向き合うより目先の便利さと豊かさの追求、これはいったい誰のためですか？医療に目を移しましょう。人は誰も死を約束されてこの世に生まれて来ました。そのなかで医療とは何をするか？何のためにあるか？

誰かの経済活動目的にあるのではなく、人々の幸せのためにある、という根本原則を忘れずに居られるか？この宇宙で奇跡的に存在してきた人類が、その智慧を試されているように思えてなりません。



富岡地域医療企業団
公立七日市病院
副企業長兼院長 竹原 健

明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

新たな年を迎えました。2025年は昭和が続いていれば、昭和100年という節目の年で、昭和生まれの私にとっては感慨深いものがあります。また、2025年は「地域医療構想」におきましては、いわゆる「団塊の世代」がすべて75歳以上の後期高齢者となる「超高齢化社会」を迎える年とされ、各地域において、患者がその病状に見合った医療サービスを適切に受けられるとされてきた年でもあります。しかし、地域医療構想が叫ばれていた中で2019年から始まった新型コロナウイルス感染症の出現で地域の医療体制のみならず日本の医療体制も大きな影響を受けたこと

は言うまでもないところです。さて、今年は「乙巳（きのとみ）」の年と言われています。乙（きのと）は、十干の2番目で「木」の要素を持ち、草木がしなやかに伸びる様子や横へと広がっていく意味を持ちます。また巳（み・へび）は、神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされており。そのため乙巳（きのとみ）の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると考えられます。この「乙巳（きのとみ）」の年にあやかり、引き続き当院の果たすべき役割を全うして地域住民の信頼に応えていければと存じます。改めまして、今年もどうぞよろしく願ひいたします。



富岡地域医療企業団
公立富岡総合病院
院長 宮崎 増美

我々は、病院としての災害対策を更に進めています。

2025年に団塊の世代の皆さんは、すべて75歳以上の後期高齢者になります。以前の世代に比べて、健康で元気な方が多くなっていますが、介護や医療が必要になる機会も増えてしまう年代です。我々は、地域の皆様の不安に寄り添い、日常診療に加え救急での受け入れ体制を整え、高齢化が進んでも、住みやすい富岡地域を守る病院として努力いたします。

どうぞ今年もよろしく願ひいたします。

シリーズ職場紹介

4AB病棟

病棟編成に伴い2024年10月から4A病棟と4B病棟が1つの病棟になり、60床の内科・消化器科・感染症の病棟として生まれ変わりました。看護師は37名、看護補助者5名で構成されています。

4A病棟は今まで新型コロナウイルス感染症の専用病棟として運用してまいりましたが、5類感染症と位置づけられるようになったこと、ウイルス株の変異による症状の変化などもあり、運用方法を見直す必要がありました。そこで、普段は一般の入院患者を受け入れ、感染症が流行した場合にはガイドラインに沿った感染対策を行いながら、新型コロナウイルス感染症に罹患した患者さんの受け入れを行っていきます。

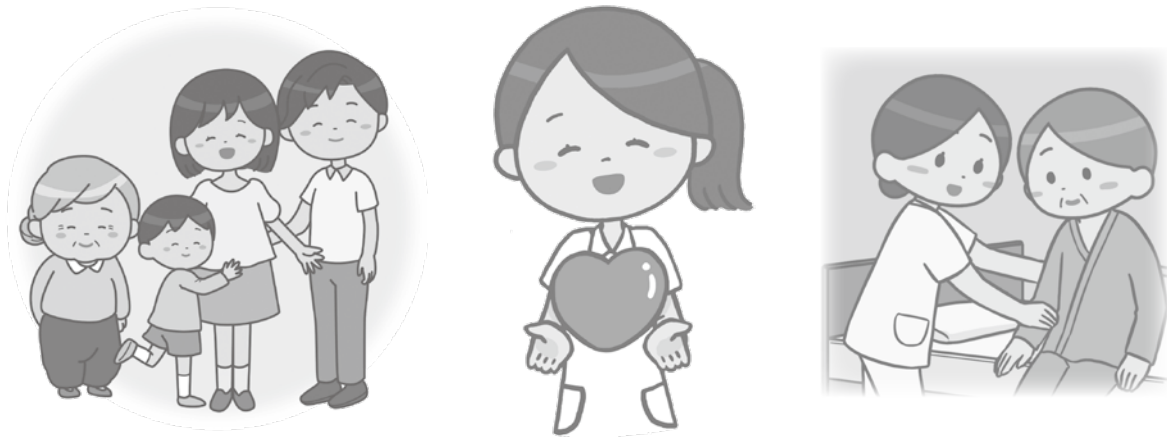
4B病棟は地域包括ケア病棟として、治療がひと段落した患者さんがスムーズに退院できるよう治療と生活の場の橋渡しをしてきました。地域包括ケア病棟になる前は、内科・消化器科の病棟だったため以前の機能に戻ったことにな

ります。

病棟の役割の変化や、機能が違う病棟が1つになることで様々な混乱が生じがちですが、スタッフ同士、声を掛け合い協力しながら、日々看護を行っています。それぞれの病棟で培った知識・技術を共有しあい学び合っています。

病棟の機能が変わりましたが「患者さんにとっての最善は何か」を常に考え、患者さんが「その人らしく生きる」ために看護や支援を行っていくことには変わりありません。

病気で入院している患者さんではありますが、それぞれに歩んできた人生も違い、価値観や大切にしたいことも一人一人違います。その人が送ってきた人生そのものにも目を向け、その人にとっての最善の医療・ケアが提供できるような患者さんの思い、それを支える家族の思いを丁寧に紡ぎ、温もりのある看護を行っていきたいと思います。



紙上ナイトスクール

新型コロナウイルス感染拡大の影響によりナイトスクールの休止していますが、予定していた講義内容の一部をお届けします。

のどを鍛えて誤嚥を防ぐ！

～今日から始める簡単！のどの筋トレ～

リハビリテーション技術科 中村 愛深



もしかしたらそれって
要注意のサイン!?

毎日何気なく食べている食事。実はその一口で肺炎になるかもしれないと知っていますか？日本では食べ物や唾液が誤って肺に入ることによって発症する「誤嚥性肺炎」が高齢者の死因として増えています。「最近、ご飯の最中に咳き込みやすくなったな」「硬い肉が飲み込みにくくなったな」と感じることで増えたら要注意！もしかしたらそれはのどの筋肉が衰えているサインかもしれません。

なぜ誤嚥は起るの？

誤嚥性肺炎が起る原因の一つに嚥下機能（えんげきのう）、つまり飲み込む力の低下があります。嚥下機能は脳卒中や神経疾患など特定の病気によっても影響を受けますが、老化によっても自然に衰えてしまったため食べ物や飲み物が気管に入りやすくなってしまいうのです。そのため、日常からのどの筋肉を鍛えていくことが非常に重要となります。

老化予防は早めの対策を！

のどの老化は高齢者だけの問題ではありません。のどの筋肉自体は40代くらいから衰え始めるからです。筋肉自体はいつになっても鍛えることができますが、いったん衰えた状態から回復させるのはとても大変です。大切なのは衰えないように予防をしていくことです。

のどの筋トレを1日3回食前に行うだけでも十分効果があ

ります。また、のどは呼吸にも関わってくる器官でもあるため、しゃべったり笑ったりしてのどを使うことも老化予防に有効です。

のどの筋肉が弱くなると、将来口から食べられなくなる可能性があります。早めにのどの筋トレを始めて誤嚥性肺炎を予防し、よりよい健康な未来を目指しましょう！

のどの老化セルフチェックリスト

- ☐ 食事中にむせる、咳き込むことが増えた
- ☐ 上を向いてごくごく水を飲むとむせやすい
- ☐ 大き目の錠剤が飲み込みにくくなった
- ☐ 以前より食べるのが遅くなった
- ☐ 食後にたんの量が増える
- ☐ 最近声が小さいと言われるようになった
- ☐ のど仏の位置が以前より下がった

嚥下おでこ体操

- ①おじぎをするように、頭を前に倒す
- ②てのひらでおでこを押し返す

5秒キープを10回

顎引き抵抗運動

- ①ゴムボールを顎の下に挟む
- ②ボールに向かってできるだけ強く顎を引く

10秒キープを5回

開口保持訓練

できるだけ力強く大きく口をあけたまま
10秒キープ

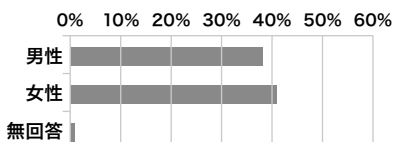
10回

外来

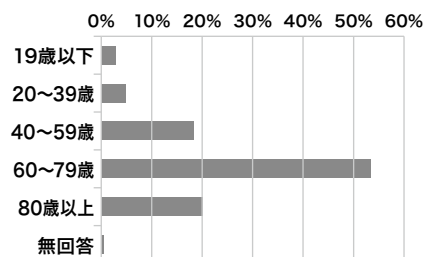
調査概要

- 調査期間
令和6年7月22日（月）～26日（金）5日間
- 調査方法
無記名アンケート
- アンケート配布数
1,537人
- 回答者数
742人（回収率48.3%/男性354人,女性380人,無回答8人）

回答者性別割合

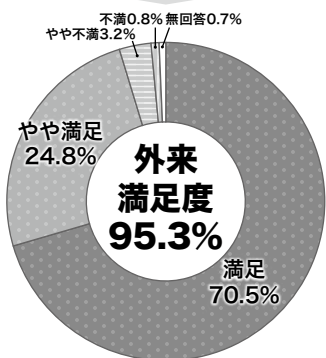


回答者年齢区分割合

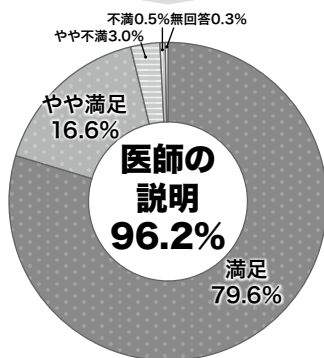


項目別満足度(割合)

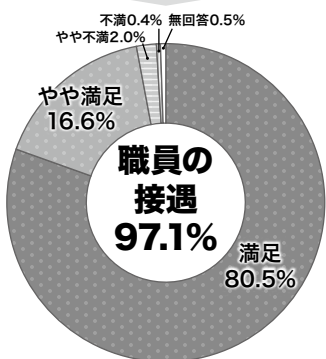
当院に受診されて、総合的に満足のいく
外来診療を受けることができましたか？



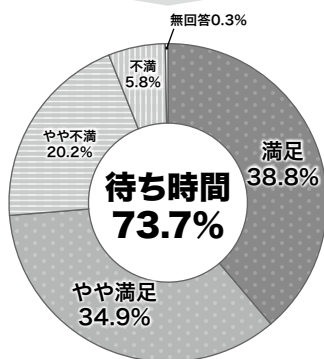
担当した医師は、病気や治療について
わかりやすく説明しましたか？



職員※の言葉遣いや態度、
身だしなみはいかがでしたか？
※医師、看護師、その他



待ち時間について
どのように感じますか？



調査結果

満足度に関する質問に対して、「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」の4段階評価で回答していただきました。

一昨年より、回答のしやすさと回収率の向上を目指し、web上で回答できるようにし、一定数のご利用をいただいております。

入院調査では昨年度より、回答用紙を会計用紙と一緒に渡すほか、入院案内冊子に同封し、入院の説明時にアンケート協力をお願いをしました。

依然として回答率は9.8%と低く、要因としては退院時に回収できる機会が少ないことや、通年で退院時アンケートも行っているため、似通った調査となってしまうことが考えられます。内容面では入院満足度91.6%、看護満足度87.5%と各項目で高い評価をいただきました。今後は「病棟の雰囲気」「病室の清潔さ」で満足をいただけるよう改善していきたいと考えています。

外来調査は、調査日数を5日間とし、全ての曜日で実施しました。多くの方にご回答いただき、幅広いご意見をいただくことができました。外来診療の満足度は95.3%、その他の項目も概ね高い評価をいただきました。しかし、「待ち時間」については不満の割合が多い状況です。待ち時間調査も実施していますが、長時間お待たせするケースも見受けられ申し訳ございません。少しずつではありますが、完全予約制や予約優先制を導入しておりますので、待ち時間の改善が図れるよう今後も努力していきたいと考えています。

自由記載欄にいただいた感謝や激励のお言葉は、職員一同励みになります。また、ご要望やご意見は各部署で回覧し病院全体として受け止め、改善を図り今以上の評価をいただけるよう努めて参ります。

ご協力ありがとうございました。

令和6年11月1日 公立富岡総合病院 患者満足度向上委員会

アンケート調査へご協力いただきありがとうございました。

皆様からいただいた貴重なご意見は今後の病院運営に活用させていただきます。

令和6年度 患者満足度調査の結果について



業務や医療サービスの質向上を図ることを目的として、

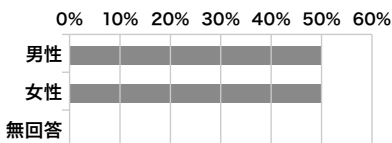
以下のとおり 患者満足度調査を実施しました。皆様からいただいた貴重なご意見をもとに、
至らぬ点につきましては、今後の改善に努めて参ります。

入院

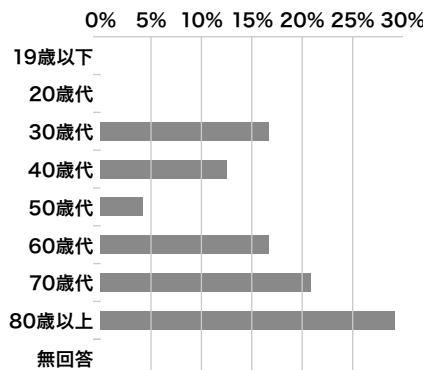
調査概要

- 調査期間
令和6年7月22日（月）～8月4日（日）14日間
- 調査方法
無記名アンケート
- 期間中退院患者数
245人
- 回答者数
24人（回収率9.8%/男性12人,女性12人）

回答者性別割合

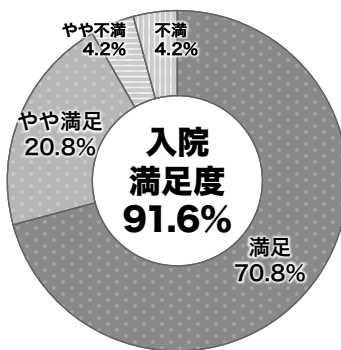


回答者年齢区分割合

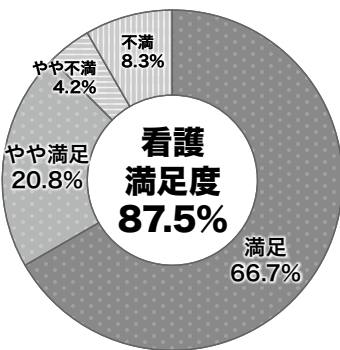


項目別満足度(割合)

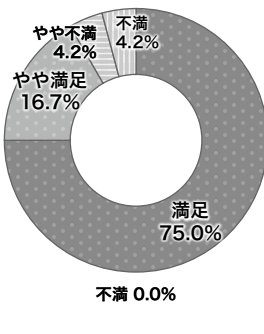
当院に入院されて満足のいく診療を
受けることができましたか



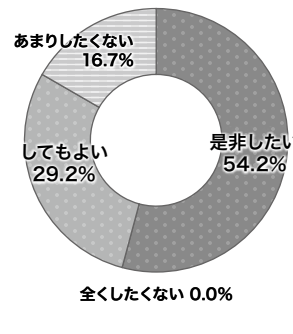
当院に入院されて満足のいく看護を
受けることができましたか



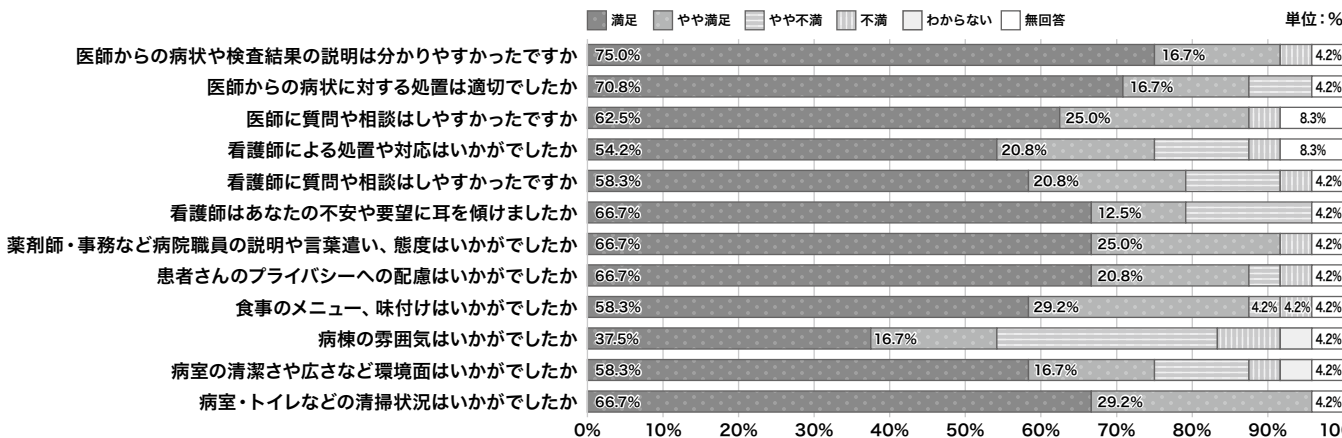
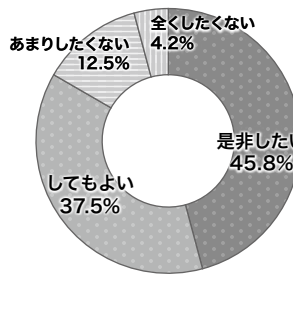
医療やケアの方針などについて
患者さんの意向は
尊重されましたか



今後も当院を
利用したいと思いますか



知人等に当院を
紹介したいと思いますか



リハビリテーションの関わり

おうちに帰る準備 - 実際の環境調整について【浴室編】 -

1・2病棟外来リハビリ係長 理学療法士 高橋 茂

当院から退院された方の中には、入浴動作が大変になる方がいます。通所サービスを利用する方も多いですが、ご自宅で入浴する場合には、入浴中は床が濡れて滑りやすく、裸の身体を支えにくいなど、介助の困難さがあります。入浴に関連する動作には、「衣服を脱ぐ」「浴室に移動する」「身体を洗う」「浴槽に移乗する」「浴槽に座る」「立ち上がる」「身体を拭く」「衣服を着る」など、複数のステップがあります。これらを安全に行うには、高い身体能力が必要になりますが、環境整備も重要になります。

まず脱衣所での更衣では、立って衣服を脱ぐのが難しい場合、座って更衣するための椅子をお勧めします。脱衣室から浴室への移動の際、最近の住宅は脱衣所と浴室がフラットな作りになっていますが、古い住宅では水が脱衣所に流れないよう段差が見られますので、縦手すりの設置をお勧めすることもあります。

洗い場ではシャワーチェアがあると便利です。一般的なチェアは座面の高さが低く、立ち上がりが大変ですので、40～45cm程度の高さがあり、滑りにくい椅子を選ぶことが重要です。背もたれや肘掛け付きの椅子ですと、より安定しますので、利用される方の状態に合わせて選択できると安全です。

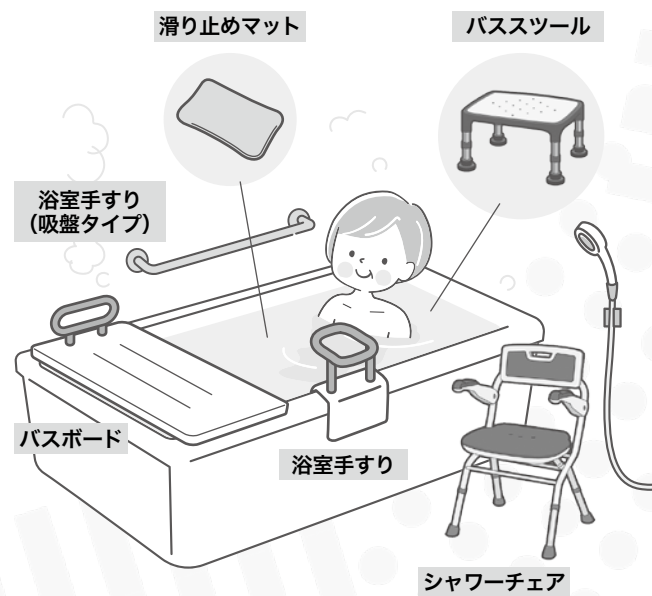
浴槽への移乗では、バスボードを浴槽に固定し、ボードに腰掛けてから浴槽をまたぐ方法を提案することがあります。立ったまま浴槽をまたぐ動作は、足が上がりにくい場合、転倒や溺れる危険があるため注意が必要です。

つかまるところが必要な場合、浴槽の縁に取り付ける手すりの利用も有効です。

浴槽内では、お尻を浴槽の底につけて座ると立ち上がりづらくなる方には、バスツールをお勧めすることがあります。また、お湯に浸かると浮力が発生するので、身体が浮き上がって滑ってしまうことがあります。そんな時は浴槽の底に滑り止めマットをつけて対応することも必要です。

大掛かりな工事が難しい場合、最近は吸盤式の手すりも販売されているようです。耐荷重への注意は必要ですが、工事よりも安価に済む場合があります。

いずれにしても、介助が必要な方の身体能力によって、必要な物品などが変わりますので、担当のケアマネジャーやリハビリ専門職などに相談していただければと思います。

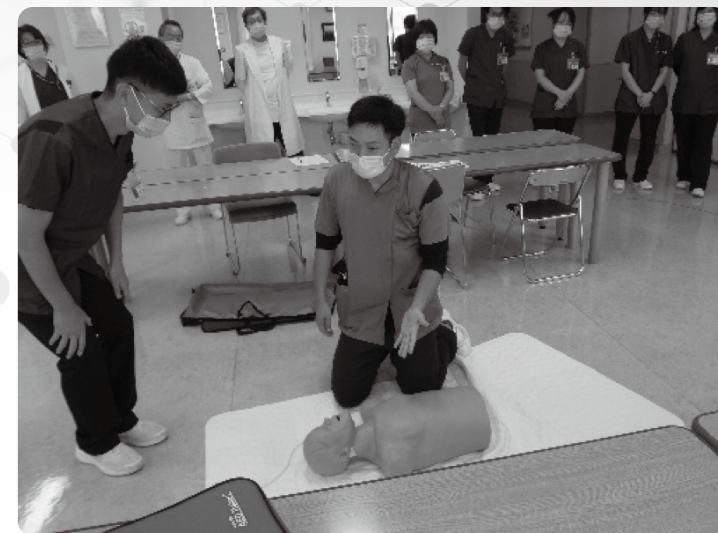


今年もBLS研修を実施しました

リハビリテーション技術科 1・2病棟外来リハビリ係長 理学療法士 高橋 茂

当院では、毎年BLS研修を実施しています。BLSとはBasic Life Supportの略で一次救命処置のことです。院内や院外で急に倒れた方がいた場合に速やかに対応できるように定期的な研修を開催しています。

BLS研修ワーキンググループでは、ICLSプロバイダーコースに参加経験のある職員を中心にメンバーを構成し、研修の計画立案や準備を



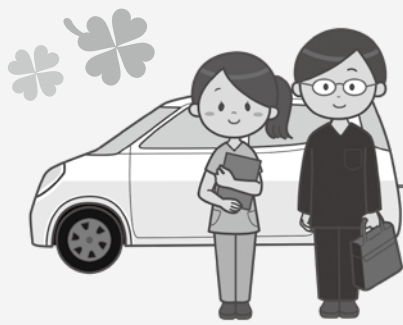
行っています。私たち医療に携わるものは一般の方に比べると医療的な知識や技術はあると思いますが、急な事態に慌ててしまい、対応できなくなってしまう可能性もあります。こういった研修を繰り返し行うことで、いざという時慌てずに落ち着いて対応できるようにすることが研修の大きな目的の一つになっています。

研修は人形を用いた実践的な研修で、「周囲の安全確認」、「意識の確認」、「大声で人を集める」、「救急カートやAED、Eコールの依頼」、「呼吸・脈拍の確認」、「気道確保」、「胸骨圧迫」、「AEDの装着と操作」など、一連の流れを実施します。どの職員も手順や注意点を確認しながら真剣に取り組んでいました。

ワーキンググループでは、インストラクターの手配などを行うとともに、書籍や資料を活用して最新のガイドラインに基づいた研修が行えるように、方法の検討などを行っています。



す。メンバー自身も繰り返し研修を実施することでBLSに習熟することが出来ます。できれば多くの方にメンバーとして関わっていただけたらいいのではないかと思います。



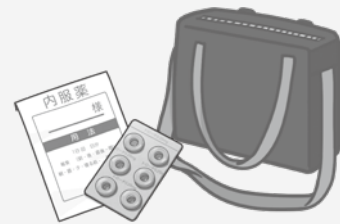
訪問診療での外来看護師の役割

外来看護師 齊田 綾子、曾根 笑子、津田 美由紀

現在、地域の個人宅（25件程度）や高齢者施設（グループホームや有料老人ホームなど）に、定期的・計画的な訪問診療に伺っています。外来看護師は、事前準備から訪問先への同行に至るまで、様々な役割を担っています。訪問診療当日は、医師とその日のスケジュールを確認します。訪問先のお宅や施設と連絡を取り合い、訪問時間や患者さんの情報を共有します。何か変わった事があれば、医師に報告し、予測される処置に必要な物品を準備したりします。スケジュール



管理や忘れ物がないように準備をするのも、訪問診療を円滑に行うための私達の大切な役割だと思っています。訪問診療先では、患者さんの検温や血圧測定など状態把握や診療の補助、採血や注射、尿力テール交換などの医療行為に限られた時間の中で行い、医師がスムーズに診療できるようにサポートしています。入院をせ



ず、最後まで住み慣れた環境の中で過ごしたいという患者さんや、家で過ごさせてあげたいというご家族の気持ちに寄り添い、不安や悩み事に対する相談窓口として、重要な役割を担います。訪問看護師、ケアマネジャーなど、他職種との連携を図り、患者さんが安心して療養生活を継続できるようにチーム医療の一員としての役割を果たしています。



訪問診療とは、体が不自由で病院へ通院することが難しい方に、医師と看護師が自宅や施設に訪問して診察や治療を行うサービスです。医療処置が必要な方、自宅や施設で療養したい方で医師から訪問診療が必要だと判断された方が利用できます。

当院の訪問診療

医師 土屋 貴秀



訪問診療を受けるメリット

訪問診療のメリットとして、以下のような点があります

- 移動の負担がないこと
- 住み慣れた家で自分のペースで療養ができること
- 家族の負担軽減（通院の手配・介助の軽減）など

どんなことをしてもらえるの？

診察：血圧測定、聴診、問診などをおこない健康状態をチェックします。

処方：必要に応じて薬を処方します。

検査：血液検査や尿検査など簡単な検査を行うこともあります。

処置：尿管の交換、褥瘡の処置などを行います。

生活の場での看取りにも対応しています。

自宅や施設にはいつ医師や看護師が来るの？

ご都合を伺って、平日に定期的に訪問をします。訪問診療の際は、家族にもご在宅いただくようお願いしています。

急に病状が悪化した時はどうすればいいの？

病状によっては緊急で往診をします。あるいは、救急車で病院に搬送するようご案内する場合があります。

費用はかかるの？

訪問診療には、病院に通院する際と同じように費用がかかりますが、医療保険が利用できます。

訪問診療を受けるには

担当の医師にご相談ください。



保険証ってどうなるの？

健康保険証はまだまだ使えます
期限が来るまでは処分せず、大切に保管してください！



今までの健康保険証は有効期限まで使用できます。

有効期限が記載されていない健康保険証は令和7年12月1日まで使用できます。

群馬県 国民健康保険 被保険者証	有効期限 ●年●月●日 記号○○ 番号○○(枝番)○○
氏名 生年月日 世帯主氏名 住所 交付年月日 交付者名	○○ ○○ 昭和○○年○○月○○日 ○○ ○○ 群馬県○○市 令和○○年○○月○○日 ○○市長

有効期限 ●年●月●日
記号○○ 番号○○(枝番)○○

令和6年12月2日以降に健康保険証が変わった方は以下の方法をご利用ください。
(健康保険証を紛失した場合も含む)

① マイナ保険証をお持ちの方



マイナ保険証は公立富岡総合病院1階総合受付及び公立七日市病院1階総合受付に設置してあります『顔認証機能付きカードリーダー』でご利用いただくことができます。

※何らかの事情でマイナ保険証が使えなかった時のために、保険者から届く「資格情報のお知らせ」があると安心です。



② マイナ保険証をお持ちではない方

群馬県 国民健康保険 資格確認書	有効期限 ●年●月●日 発効期日 ○年○月○日
氏名 生年月日 世帯主氏名 住所 交付年月日 交付者名	○○ ○○ 昭和○○年○○月○○日 ○○ ○○ 群馬県○○市 令和○○年○○月○○日 ○○市長

加入されている保険者から
「資格確認書」
が送られてきます。

今までの健康保険証と同じように
使用できます。

現時点でマイナ保険証に対応しているのは主保険(国民健康保険や社会保険)のみとなっておりますので、
福祉医療や生活保護等の各種公費の受給資格の確認については、
従来どおり窓口での医療券のご提示が必要です。

発行

富岡地域医療企業団 公立富岡総合病院

〒370-2393 群馬県富岡市富岡2073-1

TEL.0274-63-2111

FAX.0274-64-1406

<http://www.tomioka-hosp.jp>

tomihp@mail.gunma.med.or.jp



富岡地域医療企業団 公立七日市病院

〒370-2343 群馬県富岡市七日市643

TEL.0274-62-5100

FAX.0274-62-5211

<http://www.nano-hosp.jp/>

nanobyin@nano-hosp.jp

